

東京海上ホールディングス：2008年度第3四半期決算
電話会議用補足資料

2009年2月13日

<東京海上ホールディングス連結 2008年度業績予想>

(単位：億円)

	07年度実績		08年度予想 (08年11月19日公表)		08年度予想 (今回)			
		増減率		増減率	前期比 増減	前期比 増減率	11月公表 対比増減	
経常収益	37,100	▲12.1%	35,000	▲5.7%	34,400	▲2,700	▲7.3%	▲600
経常利益	1,790	6.6%	560	▲68.7%	▲290	▲2,080	▲116.2%	▲850
当期純利益	1,087	16.9%	420	▲61.4%	50	▲1,037	▲95.4%	▲370

11月公表予想からの主な増減理由

◆連結経常収益 (▲600億円減少)

- ・海外事業子会社で、円高を主因として▲380億円減少
- ・あんしん生命で、生命保険料および為替差益の減少を主因として▲200億円減少

◆連結経常利益 (▲850億円減少)

- ・東京海上日動で、円高による支払備金積増負担減により保険引受利益が+100億円増加するものの、有価証券評価損▲423億円増加、ABS評価損▲103億円増加などの資産運用損益の悪化を見込み、▲450億円減少 (950億円⇒500億円)
- ・日新火災で、有価証券評価損▲83億円増加などにより、▲70億円減少 (▲90億円⇒▲160億円)
- ・海外事業子会社で、アジア生損保事業における資産運用損益の悪化や円高の影響により▲63億円減少 (173億円⇒110億円)
- ・パーチェス差額が有価証券評価損に係るものを中心に▲364億円拡大 (▲339億円⇒▲703億円)

◆連結当期純利益 (▲370億円減少)

- ・東京海上日動で、▲200億円減少 (700億円⇒500億円)
- ・日新火災で、▲58億円減少 (▲33億円⇒▲91億円)
- ・国内生保2社は横ばい (あんしん生命 0億円⇒0億円、フィナンシャル生命 115億円⇒117億円)
- ・パーチェス差額が▲228億円拡大 (▲221億円⇒▲449億円)

<ご参考：国内損害保険子会社の2008年度通期業績予想(当期純利益)>

(単位：億円)

	07年度実績		08年度予想 (08年11月19日公表)		08年度予想 (今回)			
		増減率		増減率	前期比 増減	前期比 増減率	11月公表 対比増減	
東京海上日動	1,229	27.5%	700	▲43.1%	500	▲729	▲59.3%	▲200
日新火災	19	363.5%	▲33	▲270.0%	▲91	▲110	▲563.7%	▲58